

# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 国語A 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（国語2（光村図書））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A クマゼミ増加の原因を知る 【知識及び技能】 話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 文章の全体と部分の関係を把握したり、文章と図表を結び付けたりすること。 ・教材 教科書・便覧・漢字ボックス・現代を読む初めての評論文20選・新中学問題集 ・一人1台端末の活用 等 意見・思考の共有	○			・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 ・自己の学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
	B メディアを比べよう 【知識及び技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 情報の整理、引用や出典の示し方、情報の信頼性に関する理解。 ・教材 教科書・便覧・漢字ボックス・現代を読む初めての評論文20選・新中学問題集 ・一人1台端末の活用 等 成果物の作成・提出	○	○		・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理している。 ・自己の学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
	C 故事成語（守株、朝三暮四） 【知識及び技能】 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、我が国の伝統文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 訓読文、書き下し文 ・教材 教科書・便覧・読んでまなぶやわらか古文ひきだす漢文・新中学問題集 ・一人1台端末の活用 等 課題等の提出	○			・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・自己の学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
	定期考査		○	○	○		○	○		1
	D モアイは語る 【知識及び技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。【知識及び技能】	・指導事項 根拠の妥当性、吟味。文章の構成や論理の展開。思考や意見の広がりや深まり。 ・教材 教科書・便覧・漢字ボックス・現代を読む初めての評論文20選・新中学問題集 ・一人1台端末の活用 等 意見・思考の共有	○			・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・自己の学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
	E 意見文を書く 【知識及び技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 根拠の適切さ、構成・展開の工夫 ・教材 教科書・便覧・漢字ボックス・現代を読む初めての評論文20選・新中学問題集 ・一人1台端末の活用 等 意見文の作成、共有、提出	○			・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・自己の学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
	F 漢詩の風景 【知識及び技能】 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 漢詩のきまり、表現の効果 ・教材 教科書・便覧・読んでまなぶやわらか古文ひきだす漢文・新中学問題集 ・一人1台端末の活用 等 課題等の提出	○			・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。 ・自己の学習を調整し、粘り強く学習に取り組んでいる。	○	○	○	3
定期考査		○	○	○		○	○		1	



# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 国語 科目： 国語B 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 国語2（光村図書） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 ・ 聞	書	読					
1 学 期	A 「見えないだけ」「月夜の浜辺」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 表現技法・詩の形式 ・教材 教科書・便覧・国語辞典 ・一人1台端末の活用等 群読の評価	○			抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	○	○	○	3
	B 「アイスプラネット」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 心情理解 ・教材 教科書・便覧・国語辞典 ・一人1台端末の活用等 調べ学習	○	○		抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。  積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	2
	C 『枕草子』 【知識及び技能】 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 動詞の活用・古人の価値観 ・教材 教科書・便覧・古語辞典 ・やはらか古文ひきだす漢文 ・一人1台端末の活用等 反復学習	○	○		現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。  「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。  進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	D 「短歌に親しむ」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 表現技法・韻文の学習語彙 ・教材 教科書・便覧・国語辞典 ・一人1台端末の活用等 短歌の提出及び相互評価	○	○		抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。  進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	○	○	○	4
E 「盆土産」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 象徴・地域性・方言の表現効果 ・教材 教科書・便覧・国語辞典 ・一人1台端末の活用等 調べ学習	○	○		抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。  粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。	○	○	○	5	

	F 「字のない葉書」 【知識及び技能】 本や文章には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 随筆の特徴・時代性 ・教材 教科書・便覧・国語辞典 ・一人1台端末の活用等 調べ学習・エッセイ及び執筆及び提出	○	○	本や文章には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。  「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。  進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを文章にしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○		1
	G 「扇の的一『平家物語』から」 【知識及び技能】 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 軍記物語の特徴・古人の価値観 ・形容詞の活用 ・教材 教科書・便覧・古語辞典・やはらか古文ひきだす漢文 ・一人1台端末の活用等 群読の評価	○	○	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。  「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。  進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
2 学 期	H 「走れメロス」 「黄金風景」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 情景描写・反復・クライマックス ・教材 教科書・便覧・国語辞典・現代文学名作選 ・一人1台端末の活用等 発表資料作成	○	○	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。  積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	I 「仁和寺になる法師—『徒然草』から」 【知識及び技能】 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 形容動詞の活用 ・教材 教科書・便覧・古語辞典・やはらか古文ひきだす漢文 ・一人1台端末の活用等 反復学習・課題提出	○	○	現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。  「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。  積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって兼好のもの見方や考え方を論じようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1
	J 「清兵衛と瓢箪」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 作家論・読者論・読書会 ・教材 教科書・便覧・国語辞典・現代文学名作選 ・一人1台端末の活用等 調べ学習	○	○	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。  積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	K 「翻訳作品を読み比べよう」 【知識及び技能】 本や文章には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 外国文学・読み比べ・ビブリオバトル ・教材 教科書・便覧・国語辞典 ・一人1台端末の活用等 発表練習	○	○	本や文章には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。  「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。  進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○		1
3 学 期	L 「山椒魚」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 メタファー・文学史 ・教材 教科書・便覧・国語辞典・現代文学名作選 ・一人1台端末の活用等 調べ学習	○	○	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。  積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
	M 「離さない」 「神様」 【知識及び技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	・指導事項 同時代文学の批評 ・教材 教科書・便覧・国語辞典・現代文学名作選 ・一人1台端末の活用等 批評文執筆及び提出	○	○	抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文中の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。  「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。  積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
									合計
									69

# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 社会 科目： 地理的分野 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書： ( 新しい社会 地理 (東京書籍)、中学校社会科地図 (帝国書院) )

教科 社会 の目標：

【知識及び技能】 地理、歴史、政治・経済、国際関係等に関する知識の習得。情報・資料等を効果的に収集し活用する技能の習得。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて考察する力の育成。考察した内容を基に議論し、その結果を適切に発表する力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】 社会的課題に主体的に関わり解決しようとする態度を育成し、国民主権を担う公民としての資質と、他を尊重することのできる姿勢の育成。

科目 地理的分野 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本及び世界の諸地域に関して、諸事象や特色に関する知識の習得。情報・資料等を収集し効果的に活用する地理的技術の習得。	事象に関して、地理的な見方・考え方に基づいて考察し、課題の解決に向けて考察する力の育成。考察した内容を基に議論し、その結果を地理的な手法を活用して発表する力の育成。	日本及び世界の社会的課題に主体的に関わり解決しようとする態度を育成し、日本の諸地域・世界の諸地域の多様性を理解し尊重することのできる姿勢の育成。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	<b>地域調査の手法</b> 【知識及び技能】 地域調査の方法の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の特色を知るための調査項目の考察。 【学びに向かう力、人間性等】 調査地域・項目を主体的・積極的に行う姿勢の育成。	・指導事項 身近な地域の調査 (年末までの課題) について、調査地域・内容の決定 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 各種資料の検索・収集	【知識・技能】 地域調査の方法の技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 調査地域・項目の選択を適切に考察し、判断したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 調査地域・項目の選定を積極的・主体的に行ったか。	○	○	○	5
	<b>日本の地域的特色</b> 【知識及び技能】 日本の地域的特色に関する知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から地域的特色を理解するための考察。 【学びに向かう力、人間性等】 地域的特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 日本の自然環境の特色 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 各種資料の検索・収集	【知識・技能】 日本の自然環境に関する知識を習得したか。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境を理解するための考察を行ったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の自然環境を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	8
	<b>定期考査</b> 日本の地域的特色 【知識及び技能】 日本の地域的特色に関する知識の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から地域的特色を理解するための考察。 【学びに向かう力、人間性等】 地域的特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 日本の人口問題の特色 日本の資源・エネルギー・産業の特色 日本の交通・通信の特色 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 各種資料の検索・収集	【知識・技能】 日本の人口・資源・エネルギー・産業・降雨通・通信に関する知識を習得したか。 【思考・判断・表現】 日本の人口・資源・エネルギー・産業・降雨通・通信を理解するための考察を行ったか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の人口・資源・エネルギー・産業・降雨通・通信を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	13
	<b>定期考査</b>			○	○	○	1
2 学 期	<b>日本の諸地域</b> 【知識及び技能】 北海道地方に関する知識の習得。 北海道地方の資料・情報を収集する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、北海道地方の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 北海道地方の特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 自然環境を視点を中心においた北海道地方の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 北海道地方に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報から北海道地方の特色を適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 北海道地方の特色を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	5
	<b>日本の諸地域</b> 【知識及び技能】 東北地方に関する知識の習得。 東北地方の資料・情報を収集する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、東北地方の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 東北地方の特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 産業を視点を中心においた東北地方の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 東北地方に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報から東北地方の特色を適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 東北地方の特色を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	5
	<b>日本の諸地域</b> 【知識及び技能】 中部地方に関する知識の習得。 中部地方の資料・情報を収集する技能の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた知識・情報から、中部地方の特色を考察する力の習得。 【学びに向かう力、人間性等】 中部地方の特色を積極的に理解しようとする姿勢の育成。	・指導事項 産業・文化を視点を中心においた中部地方の概観 ・教材 教科書、地図帳、資料集 ・一人1台端末の活用 資料の検索・収集	【知識・技能】 中部地方に関する知識を習得したか。 資料・情報を収集する技能を習得したか。 【思考・判断・表現】 知識・情報から中部地方の特色を適切に考察したか。 【主体的に学習に取り組む態度】 中部地方の特色を積極的に理解しようとしたか。	○	○	○	5
	<b>定期考査</b>			○	○	○	1



# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：社会 科目：歴史 単位数：2単位

対象学年組：第2学年A組～D組

使用教科書：『中学社会－日本と世界－』（山川出版社）

教科 社会科の目標：

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを旨とする。

## 【知識及び技能】

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

## 【思考力、判断力、表現力等】

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

## 【学びに向かう力、人間性等】

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	嗽
1 学 期	<b>D. 近世の日本</b> <b>2. 江戸幕府の成立と対外政策</b> ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	〈指導事項〉 ・江戸幕府の成立と大名統制 ・様々な身分と暮らし ・幕府の対外政策 ・鎖国下の対外関係 ・琉球王国とアイヌ民族との関係  〈教材等〉 ・教科書、資料集 ・補助プリント ・ワークシート	[知識及び技能] ○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 [思考力、判断力、表現力等] ○統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 [主体的に学習に取り組む態度] ○江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	◎	○	○	5

1	学 期	<p><b>3. 産業の発達と幕府政治の動き</b></p> <p>・産業の発達、教育の普及と文化の広がりを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことを理解させる。社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まっていったことを理解させる。</p> <p>・産業の発達と文化の担い手、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>〈指導事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦農業の発達</li> <li>◦産業の発達</li> <li>◦都市の繁栄と交通の整備</li> <li>◦元禄文化</li> <li>◦綱吉と白石の政治</li> <li>◦享保の改革</li> <li>◦農村の変化と百姓一揆</li> </ul> <p>◦田沼意次の政治と寛政の改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦教育の普及</li> <li>◦国学と蘭学</li> <li>◦化政文化</li> <li>◦浮世絵の発展</li> <li>◦大塩の乱と天保の改革</li> <li>◦外国船の来航</li> <li>◦近世の大観</li> </ul> <p>〈教材等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、資料集</li> <li>・補助プリント</li> <li>・ワークシート</li> <li>・実物教材</li> </ul>	<p>[知識及び技能]</p> <p>○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、幕府政治が次第に行き詰まっていったことを理解している。</p> <p>[思考力、判断力、表現力等]</p> <p>○産業の発達と文化の担い手、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に捉えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>○産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	◎	◎	○	18
		中間考査・期末考査			◎	○		2
2	学 期	<p><b>A. 歴史との対話</b></p> <p><b>2. 身近な地域の歴史</b></p> <p>—江戸時代の文京—</p> <p>・身近な地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心を持ち、様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表や地図などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。</p> <p>・比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>*「産業の発達と幕府政治の動き」の単元後に設定</p>	<p>〈指導事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦テーマの設定</li> <li>◦調査活動</li> <li>◦調査内容のまとめ</li> <li>◦調査内容の発表</li> <li>◦調査活動全体の振り返り</li> </ul> <p>〈教材等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本、古地図</li> <li>・聞き取り調査</li> <li>・野外調査</li> </ul>	<p>[知識及び技能]</p> <p>○様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報などを地図や年表などに適切にまとめている。</p> <p>[思考力、判断力、表現力等]</p> <p>○比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>○生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心を持ち身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究解決しようとしている。</p>	○	○	◎	9

2 学 期	<p><b>E. 近現代の日本と世界</b></p> <p><b>1. 欧米諸国の近代化と日本の開国</b></p> <p>・欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。</p> <p>・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立、アジア諸国の動き、開国とその影響について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・欧米における近代社会の成立、アジア諸国の動き、開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>〈指導事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦イギリスとアメリカの革命</li> <li>◦フランス革命</li> <li>◦ヨーロッパにおける国民意識の高まり</li> <li>◦欧米諸国の発展</li> <li>◦産業革命と資本主義</li> <li>◦欧米諸国のアジア侵略</li> <li>◦日本の開国</li> <li>◦不平等条約の締結</li> <li>◦開国後の政治と経済</li> <li>◦江戸幕府の滅亡</li> </ul> <p>〈教材等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、資料集</li> <li>・補助プリント</li> <li>・ワークシート</li> <li>・実物教材</li> </ul>	<p>〔知識及び技能〕</p> <p>○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことや、開国後に人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>○工業化の進展や社会の変化などに着目して、欧米における近代社会の成立、アジア諸国の動き、開国とその影響について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> <p>○欧米における近代社会の成立、アジア諸国の動き、開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	◎	◎	○	11
	<p><b>2. 明治維新と近代国家の成立</b></p> <p>・富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解させる。</p> <p>・明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して事象を相互に関連付けるなどして明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>〈指導事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦新政府の成立</li> <li>◦富国強兵</li> <li>◦殖産興業政策</li> <li>◦兵制・税制の改革</li> <li>◦文明開化</li> <li>◦明治時代の教育制度</li> <li>◦近代的な国際関係</li> <li>◦国境と領土の確定</li> <li>◦領土問題の背景</li> <li>◦自由民権運動の高まり</li> <li>◦大日本帝国憲法の制定</li> <li>◦議会政治の始まり</li> </ul> <p>〈教材等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、資料集</li> <li>・補助プリント</li> <li>・実物教材</li> </ul>	<p>〔知識及び技能〕</p> <p>○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p> <p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <p>○明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> <p>○明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	◎	◎	12
	中間考査・期末考査			◎	○		2
2 学 期	<p><b>3. 日清・日露戦争と近代産業</b></p> <p>・日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸</p>	<p>〈指導事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦条約改正</li> <li>◦欧米列強の侵略</li> <li>◦日清戦争</li> <li>◦日露戦争</li> <li>◦韓国と中国</li> </ul>	<p>〔知識及び技能〕</p> <p>○諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめ、我が国の国際的な地位が向上したことや、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解し</p>				

3 学 期	<p>術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。</p> <p>・外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして国際社会との関わり、近代産業の近代の社会の変化の様子を多面的</p> <p>・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>・国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成についてそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</p>	<p>◦産業革命の進展</p> <p>◦国民生活の変化</p> <p>◦社会問題の発生</p> <p>◦近代文化の形成</p> <p>◦近代（前半）の大観</p> <p>*「課題解決学習」を設定</p> <p>〈教材等〉</p> <p>・補助プリント</p> <p>・ワークシート</p>	<p>ている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>○外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様表現している。近代(前半)の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	◎	◎	18
	学年末考査			◎	○		1

合計

78









# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：理科

科目：Adv. 物理 2

単位数：1 単位

対象学年組：第2 学年 A組～D組

使用教科書：新しい科学 2（東京書籍）

理科の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

Adv. 物理 2 の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<p>A 電流</p> <p>【知識及び技能】身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら電流について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、電気回路における電流・電圧・抵抗の関係性、電気とエネルギーの規則性を見出して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探究しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。</p>	<p>・指導事項 回路と電流・電圧・抵抗 電気とエネルギー</p> <p>*後期課程「物理基礎」の内容を移行</p> <p>・主な実験 電流計・電圧計のよみとり 電気回路作製 ジュール熱の発生</p> <p>・教材 新しい科学 2</p>	<p>【知識・技能】身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、電気回路における電流・電圧・抵抗の関係性、電気とエネルギーの規則性を見だして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学期	<b>B 電流と磁界</b> <b>【知識及び技能】</b> 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら電流と磁界について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、電流が作る磁界、磁界中の電流がうける力の規則性、電磁誘導と発電の関係性を見出して表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 電流が作る磁界 磁界中の電流がうける力 電磁誘導と発電</li> <li>・主な実験 検流計のよみとり 磁界の観察 電磁誘導</li> <li>・教材 新しい科学2</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流と磁界について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、電流が作る磁界、磁界中の電流がうける力の規則性、電磁誘導と発電の関係性を見だして表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学期	<b>C 電流</b> <b>【知識及び技能】</b> 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら電気の利用や静電気について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、直流と交流の違いや静電気の規則性を見出して表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 身近な物理現象に関する事項について進んで関わり、科学的に探求しようという態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 回路と電流・電圧・抵抗 電気とエネルギー</li> <li>*後期課程「物理基礎」の内容を移行</li> <li>・主な実験 オシロスコープのよみとり 直流電流と交流電流の観察 静電気の発生</li> <li>・教材 新しい科学2</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、電気の利用や静電気について理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、直流と交流の違いや静電気の規則性を見だして表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							39

※ 高等学校学習指導要領〔物理基礎〕(2) 様々な物理現象とエネルギーの利用 (ウ)電気 のうち ㉞物質と電気抵抗 ㉟電気の利用 について、内容を移行して指導する。

# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科：理科

科目：Adv. 化学 2

単位数：1 単位

対象学年組：第2 学年 A組～D組

使用教科書：新しい科学 2（東京書籍）

理科の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

Adv. 化学 2 の目標：化学変化と原子・分子に関わり、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、化学変化と原子・分子について理解する。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物質に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<b>A 気体の発生と性質</b> <b>【知識及び技能】</b> 気体の発生と性質について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 気体の発生と性質について、観察、実験などを通して探究し、問題を見いだして表現する力を養う。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 気体の発生と性質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<b>・指導事項</b> 気体の発生と性質 <b>・主な観察、実験、ワークショップ</b> 気体が発生する化学反応 気体の捕集方法 身の回りの気体 など <b>・教材</b> 新しい科学 2	<b>【知識・技能】</b> 気体の発生と性質、捕集方法についての基本的な概念などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 気体の発生と性質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 気体の発生と性質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<b>B 物質の成り立ち</b> <b>【知識及び技能】</b> 物質の分解、原子・分子について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 物質の成り立ちについて、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<b>・指導事項</b> 物質の分解 原子・分子 単体と化合物* * 後期課程「化学基礎」の内容を、移行。 <b>・主な観察、実験、ワークショップ</b> 酸化銀の熱分解 炭酸水素ナトリウムの熱分解 水の電気分解 など <b>・教材</b> 新しい科学2	<b>【知識・技能】</b> 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<b>C 化学変化</b> <b>【知識及び技能】</b> 化学変化について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 化学変化について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<b>・指導事項</b> 化学変化 化学変化における酸化と還元 化学変化と熱 <b>・主な観察、実験、ワークショップ</b> 物質の燃焼 鉱石から金属を取り出す 化学カイロをつくろう など <b>・教材</b> 新しい科学2	<b>【知識・技能】</b> 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における酸化と還元、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学期	<b>D 化学変化と物質の質量</b> <b>【知識及び技能】</b> 化学変化と質量の保存、質量変化の規則性について観察、実験などを通して理解しようとするとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 化学変化と物質の質量について、観察、実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する力を養う。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	<b>・指導事項</b> 化学変化と質量の保存 質量変化の規則性 <b>・主な観察、実験、ワークショップ</b> 質量保存の法則 物質の燃焼と質量 定比例の法則 など <b>・教材</b> 新しい科学2	<b>【知識・技能】</b> 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							39

※ 中学校学習指導要領〔第1分野〕1学年(2)身の回りの物質(ア)物質のすがたのうち、④気体の発生と性質について、内容を移行して指導する。

※ 高等学校学習指導要領〔化学基礎〕(1)化学と人間生活(ア)化学と物質のうち⑤単体と化合物について、内容を移行して指導する。

中等教育学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 Adv. 生物2

教科： 理科 科目： Adv. 生物2 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組  
 使用教科書： （新しい科学2（東京書籍））

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数多くの観察、実験などを行い、探究の過程を通して科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度及び、科学的な根拠に基づいて多面的に判断しようとする態度を養う。

科目 Adv. 生物2 の目標： 生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生命に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の体の共通点と相違点 【知識及び技能】 身近な植物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだし、植物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見いだし理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだし表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 植物の体の共通点と相違点 ・主な観察、実験、ワークシヨップ 様々な植物の観察 ・教材 新しい科学2、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだし表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 植物の体のつくりと働き 【知識及び技能】 植物の葉、茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散の働きに関する実験の結果とを関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだし表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	・指導事項 葉・茎・根の作りと働き ・主な観察、実験、ワークシヨップ 植物のつくりの観察 ・教材 新しい科学2、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 植物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりと働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだし表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2 学 期	E 生物の体の共通点と相違点 【知識及び技能】 身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解すること。また、その共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだして理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 動物の体の共通点と相違点 ・主な観察、実験、ワークショップ 様々な動物の形態、行動観察 ・教材 新しい科学2、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	F 生物の成長と殖え方 【知識及び技能】 生物の殖え方を観察し、有性生殖と無性生殖の特徴を見いだして理解するとともに、生物が殖えていくときに親の形質が子に伝わることを見いだして理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現すること。また、探究の過程を振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 生殖の殖え方 ・主な観察、実験、ワークショップ 様々な生物の殖え方に関する観察、実験 生物の成長の観察 ・教材 新しい科学2、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 生物の成長と殖え方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物の殖え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の成長と殖え方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の成長と殖え方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
G 動物の体のつくりと働き 【知識及び技能】 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系及び運動器官のつくりと関連付けて理解すること。 体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 刺激と反応 情報の伝達* * 後期課程「生物基礎」の内容を、移行。 ・主な観察、実験、ワークショップ 生物の刺激と反応に関する観察、実験、及び探究 ・教材 新しい科学2、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5	
定期考査			○	○		1	

3 学 期	G 動物の体のつくりと働き 【知識及び技能】 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系及び運動器のつくりと関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 刺激と反応 ・主な観察、実験、ワークショップ 受容器、中枢神経、効果器の観察 ・教材 新しい科学2、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	G 動物の体のつくりと働き 【知識及び技能】 消化や呼吸についての観察、実験などを行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察、実験の結果などと関連付けて理解すること。また、不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な植物や動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 生命に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	・指導事項 生命を維持する働き ・主な観察、実験、ワークショップ 動物の器官の観察 消化実験 診察RPG ・教材 新しい科学1、フォトサイエンス 生物図録	【知識・技能】 動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生命を維持する働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 78

教科:(理科)科目:(Advanced 理科Ⅱ 地学) 対象:(第2学年A組~D組)

単位数:(1単位)

使用教科書:新しい科学2(東京書籍)

使用教材:ニューステージ新地学図表(浜島書店)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	1 大気の様子と天気の変化 ・さまざまな気象要素の観測方法を知らせて気象観測を行わせ、観測データを適切な方法で整理して天気との関係を見いださせる。 ・気象観測を行って集めたデータは、天気を予測する上で役立てられていることを理解させる。	・日々の気象要素の変化に関心をもち、意欲的に気象観測をしようとする。 ・上記の目標を達成するために、毎回授業の最初に、雲量と天気、気温、湿度、気圧を予想させて、実測値と比較をさせる。 ・気象観測の方法を知り、器具を正しく使って観測し、結果を記録することができる。(雲量の測り方・乾湿計の使い方) ・今年度より、1人に1台配布されたタブレットを活用し、毎日の気象予想を継続して記入をさせることで、授業の最初に行う気象要素の予想の精度を高める。 ・気象観測で得られたデータを表やグラフなどに整理することができる。	行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、小テストなど	3
5月	大気圧と圧力について	・気象観測の方法を知り、器具を正しく使って観測し、結果を記録することができる。(気圧計の使い方) ・気象観測で得られたデータを表やグラフなどに整理することができる。 ・気温と湿度のグラフを作成し、両者の関係を見いだす。 ・「調べよう」①、②の結果と、P.183図5の話題から大気圧があらゆる方向から物体に加わっていることを見いだす。 ・P.183図4のゴムボールの実験の話聞き、空気にも質量があることを知る。 ・「調べよう」の結果から圧力が接した部分の面積に関係があることを見いだす。 ・圧力とその単位について知る。「hPa」という単位について聞く。	行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、小テストなど	4
6月	2 空気中の水の変化 ・空気中の水蒸気の量を考えさせ、露点を調べる実験を通して理解させる。	・温度と飽和水蒸気量の関係をグラフに表すことができる。 ・露点を正しく測定することができる。 ・空気中に水滴が現れるしくみと関連づけて露点を理解する。 ・湿度の意味を理解し、知識を身につける。 ・雲を発生させる実験を行い、結果を記録することができる。	行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、小テストなど	4
7月	2 空気中の水の変化 ・雲のでき方を、空気の垂直方向の動きや体積の変化に伴う温度変化と関連づけて理解させる。 ・雲の発達が降水の原因になることを理解させる。 ・太陽光のエネルギーによって地表付近の水が状態を変えながら循環していることを認識させる。	・雲が発達するときの変化を進んで見いだそうとする。 ・上昇気流や下降気流の例とその原因を理解し、知識を身につけている。 ・雲が発生する条件を見だし、雲のでき方を考えることができる。 ・雲が雨などになる過程を理解する。 ・地表のさまざまな水を関連づけて、水の移動や循環を見いだそうとする。 ・太陽光のエネルギーがかかわりながら、地表付近の水が状態を変えて循環していることを理解する。	行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、小テスト、定期テストなど	3

教科:( 理科 )科目:( Advanced 理科Ⅱ 地学 ) 対象:(第 2学年 A組～ D組)

単位数:( 1単位)

使用教科書: 新しい科学2(東京書籍)

使用教材: ニューステージ新地学図表 (浜島書店)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9月	2 空気中の水の変化 ・雲のでき方と消滅を、フェーン現象を例に理解させる。	・演習を通し、フェーン現象について理解をする。 ・実際にフェーン現象が起きた場合の各地の気温の変化や風の吹き方について理解を深める。	行動観察、 発言、 発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テストなど	5
10月	3 大気の流れと天気の変化 ・気圧の分布の様子は等圧線で表されること、天気や風の様子は記号を用いて表されることを理解させる。 ・高気圧や低気圧付近の風を大気の流れとして捉え、それらと天気の関係を見いださせる。	・天気図から天気や風向・風力を読み取ったり、雲画像から雲の分布の特徴を読み取ることができる。 ・等圧線、高気圧や低気圧の意味を理解し、知識を身につけている。 ・天気と気圧の関係を見いだすことができる。	行動観察、 発言、 発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テストなど	4
11月	3 大気の流れと天気の変化 ・気団のでき方と性質、前線の種類と発達について理解させる。 ・寒冷前線や温暖前線の通過に伴う天気の変化を捉えさせる。	・気団のでき方とその性質を理解する。 ・前線の種類とその付近の大気の流れを理解する。 ・温帯低気圧の構造を読み取ることができる。 ・寒冷前線通過のモデル実験を行い、気温が急に変化する理由をモデル実験の結果と関連付けて説明することができる。 ・寒冷前線や温暖前線の通過に伴う天気の変化を理解し、知識を身につけている。	行動観察、 発言、 発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テストなど	4
12月	3 大気の流れと天気の変化	・天気図と観測データを関連づけて、前線の通過に伴う天気の変化を説明することができる。 ・複数の天気図から気象要素の連続的な変化を読み取ることができる。	行動観察、 発言、 発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テスト、 定期テストなど	3

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 月	3 大気の流れと気象の変化  ・日本付近の低気圧や高気圧の移動や高層の大気の流れから、気象の変化の規則性を偏西風と関連づけて捉えさせる。	・低気圧や高気圧の移動の規則性を見いだすことができる。  ・偏西風が低気圧や移動性高気圧の移動に影響を及ぼすことを理解する。  ・連続した天気図から気象を予測することができる。	行動観察、 発言、発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テストなど	3
2 月	4 大気の流れと日本の四季  ・偏西風は地球規模の大気の流れの一部であることを認識させる。 ・地球規模の大気の流れは緯度による温度差と関係して起こることを理解させる。 ・日本が大きな大陸と大きな海洋の境界に位置していることに気づかせるとともに、陸と海の境界では、地面と海面の温度差によって生じる風がふくことを理解させる。	・日本付近の大気の流れを地球規模の大気の流れの中で捉え、地球規模の大気の流れの原因を理解する。  ・地面と海面のあたため方の違いをもとに、風がふく向きを説明することができる。  ・海陸風や季節風がふくしくみを理解する。	行動観察、 発言、発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テストなど	3
3 月	4 大気の流れと日本の四季 ・日本付近では、シベリア気団、オホーツク海気団、小笠原気団が1年周期で盛衰を繰り返す、日本の四季の気象に影響を与えていることを理解させる。 ・日本の冬、春、梅雨、夏、秋の気象の特徴とそれが生じるしくみや、台風について理解させる。 ・日本の気象の変化と生活のかかわりを認識させ、自然とうまくつき合って生活するために大切なことについて考えさせる。	・日本周辺にできる気団を理解する。  ・気団からふき出す大気の特徴が変化する原因を見いだすことができる。  ・日本の冬の気象の特徴とそれが生じるしくみを理解する。 ・日本の春、梅雨、夏、秋の気象の特徴とそれが生じるしくみを理解する。  ・日本の冬の気象の特徴を天気図などから読み取ることができる。 ・日本の春、梅雨、夏、秋の気象の特徴を天気図などから読み取ることができる。  ・日本付近の台風の進路の特徴を見いだして、その原因を考えることができる。	行動観察、 発言、発表、 パフォーマンステスト、 レポート、 ワークシート、 小テスト、 定期テストなど	3

## 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 音楽 科目： 中学音楽2 単位数： 1 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組  
 使用教科書： ( 中学生の音楽 2・3上 (教育芸術社) / 中学生の器楽 (教育芸術社) / 音楽のハーモニー2・3上 (正進社) )  
 教科 音楽 の目標：

- 【知識及び技能】** 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力等】** 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。  
**【学びに向かう力、人間性等】** 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 中学音楽2 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A 曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう <b>【知識及び技能】</b> 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	・指導事項；歌唱 ・教材；夢の世界を／リズムゲーム／リズムアンサンブル ・一人1台端末の活用 等	○	○		・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	3	
1 学期 パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう <b>【知識及び技能】</b> 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すること。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け歌唱で表すこと。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	・指導事項；歌唱 ・教材；翼をください／My Voice ・一人1台端末の活用 等	○			・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	3	

<p>音の重なりや反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう</p> <p>【知識及び技能】 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解すること。創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫していること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項；創作</li> <li>・教材；Let's Create</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	○	○	○ 3
<p>楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう</p> <p>【知識及び技能】 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解していること。創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項；器楽（キーボード）</li> <li>・教材；カントリーロード／大きな古時計／千の風になって</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	○	○	○ 4
<p>曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう</p> <p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造との関わりについて、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項；鑑賞</li> <li>・教材；交響曲第5番ハ短調／指揮をしてみよう</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</li> <li>・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。</li> <li>・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</li> <li>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。</li> <li>・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○ 4
<p>曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう</p> <p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項；歌唱</li> <li>・教材；夏の思い出／荒城の月／サンタルチア</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	○	○	○ 4

<p>予期</p>	<p>言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう</p> <p>【知識及び技能】 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解していること。創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫していること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項；創作 ・教材；My Melody ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して音楽を作る。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>4</p>
	<p>曲想を音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう</p> <p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すること。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表すこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすること。</p>	<p>・指導事項；歌唱 ・教材；夏の日の贈り物/Joyful Joyful/生活や社会の中の音楽 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
	<p>オペラに親しみ、その魅力を味わおう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項；鑑賞 ・教材；オペラ「アイーダ」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。 ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>3</p>
	<p>歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう</p> <p>【知識及び技能】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解すること。我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項；歌唱・鑑賞 ・教材；歌舞伎「勅進帳」/長唄「勅進帳」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>2</p>



中等教育学校 令和5年度（2学年用） 教科 美術 科目

教科：美術 科目：中学美術2 単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（開隆堂出版 美術1 2・3）

教科 美術 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数			
		絵・彫	デザイン	工芸									
1. 日本美術と季節感 B鑑賞(1イ(ア)) [共通事項]	日本美術の中に表された季節感を、色や形、光や材料の視点から感じ取る。  教科書・表現と鑑賞 タブレット				○	(1)「知識及び技能」 (知) 形や色彩、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 (知) 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (鑑) 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考える鑑賞の学習活動				○	○	○	1
2. 和菓子で表す季節感 A表現(1)ア(ア) 《つくる活動》 [共通事項]	樹脂粘土で、日本の伝統文化である和菓子を作り、季節感を表現する。  教科書・表現と鑑賞 タブレット 樹脂粘土 粘土板 粘土ペラ アクリル絵の具 透明水彩絵の具				○	(1)「知識及び技能」 (知) 形や色彩、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 (技) 樹脂粘土や絵具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表している。 (技) 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 (2)「思考力、判断力、表現力等」 (発) 装飾の目的や条件などを基に、用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 (態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に意図に応じて工夫して表す表現の学習に取り組もうとしている。				○	○	○	7
1 学期 3. 造形的な視点から見る美術史① 鑑賞(1)イ(イ) [共通事項] 4. バランスをとらえた人物のスケッチ① A表現(1)ア(ア)  ポーズのついた人物のスケッチを通して、全体と部分のバランスのとらえ方を身に付ける。	日本美術史・西洋美術史の大まかな流れを、それぞれの時代の地域や文化の造形的な特徴について学ぶ。  ポーズのついた人物のスケッチを通して、全体と部分のバランスのとらえ方を身に付ける。  教科書・表現と鑑賞 タブレット 鉛筆				○	(1)「知識及び技能」 (知) 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 (技) 鉛筆や消しゴムの生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表す。 (2)「思考力、判断力、表現力」 (鑑) 日本美術の表現の特質から、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深め、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付く、見方や感じ方を深める。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 (態鑑) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える鑑賞の学習活動に取り組む。 (態表) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に意図に応じて工夫して表す表現の学習に取り組む。				○	○	○	2



中学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健体育

教科： 体育 科目： 保健体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 中学校 保健体育 大日本図書 ）

教科 保健体育 の目標：  
 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

科目 保健体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身につけている。	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断するとともに、それらを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善をくして運動する態度を養う。また、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
A 体づくり運動 【知識及び技能】 体ほぐしの運動や体力を高める運動を通して、身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・指導事項 静的ストレッチ 動的ストレッチ バランスを高める運動 体力を高める運動 ボールに慣れる運動 ・教材 「ステップアップ中学体育」 東京都版 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 体ほぐしの運動や体力を高める運動を通して、身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体づくり運動の意義と行い方、運動の計画の立て方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができる。	○	○	○	8
B 武道・柔道 【知識及び技能】 相手の動きに応じた基本動作や固め技を用いて、投げたり受け身を取ったり、固め技を用いて攻防を展開できるようにする。柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけてことができるようにする。課題に応じた練習方法を選ぶことができ、仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどができるようにする。禁止技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。	・指導事項 受け身、けさ固め 横四方固め、支え釣り込み足 大腰 簡易な約束稽古 ・教材 「ステップアップ中学体育」 東京都版 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 相手の動きに応じた基本動作や固め技を用いて、投げたり受け身を取ったりすることができる。固め技を用いて攻防を展開することができる。柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 技を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけてことができる。課題に応じた練習方法を選ぶことができ、仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどができる。禁止技を用いないなど健康・安全に気を配ることができる。	○	○	○	11
1学期 C 器械運動・跳び箱 【知識及び技能】 切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行う事や条件を変えた技、発展技を行う事を通じて、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。機械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題に応じて、適切な練習方法を選ぶことができるようにする。仲間と学習する場面で、仲間の動きと自己の動きの違いなどを指摘することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 跳び箱運動に積極的に取り組むとともに、良い演技を認めようとする事、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。	・指導事項 切り返し系…開脚跳び（横・縦） 抱え込み跳び 回転系…台上前転、頭はね跳び 前方都立回転跳び ・教材 「ステップアップ中学体育」 東京都版 ・学習カード ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行う事ができる。技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにすることができる。機械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題に応じて、適切な練習方法を選ぶことができる。仲間と学習する場面で、仲間の動きと自己の動きの違いなどを指摘することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 跳び箱運動に積極的に取り組むとともに、良い演技を認めようとする事、分担した役割を果たそうとすることなどができる。健康・安全に気を配ることができるようになっている。	○	○	○	11
D 保健・健康な生活と病気の予防 【知識及び技能】 生活習慣の乱れと生活習慣病などのつながりを理解できるようにする。がんの予防について理解できるようにする。喫煙・喫煙・薬物乱用は、健康を損なう原因となる事を理解できるようにする。また、これらの行為は、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要がある事を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 知識として理解した事を活かし、生活習慣病を予防する適切な生活習慣を実践できるようになることや、周囲の不適切な生活習慣の人に対して、改善を提案できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な生活習慣などについて、自らの生活と照らし合わせながら理解するように努める。	・指導事項 生活習慣病の予防 がんの予防 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 喫煙・飲酒・薬物・乱用のきっかけ ・教材 「中学校 保健体育」大日本図書 ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 生活習慣の乱れと生活習慣病などのつながりを理解している。がんの予防について理解している。喫煙・飲酒・薬物乱用は、健康を損なう原因となる事を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 知識として理解した事を活かし、生活習慣病を予防する適切な生活習慣を実践できる。周囲の不適切な生活習慣の人に対して、改善を提案できる。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な生活習慣などについて、自らの生活と照らし合わせながら理解するように努めている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

<p><b>E 水泳</b>  <b>【知識及び技能】</b>  クロールや平泳ぎで、手と足、呼吸のバランスを取り早く泳ぐことを目指し、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につける事ができるようにする。水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  泳法を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけることや、課題に応じた練習方法を工夫できるようにする。仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>・指導事項  クロール  けのび（ストリームラインの確認）  キックとプルの練習  呼吸の練習  クロールでの測定  平泳ぎ  キックとプルの練習  キックとプルのタイミング練習  平泳ぎでの計測  泳法  「ステップアップ中学体育」東京都版  ・学習カード  ・一人1台端末の活用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>  クロールや平泳ぎで、手と足、呼吸のバランスを取り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につける事ができる。水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解する。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  泳法を身につけるための運動の行い方のポイントを見つけたり、課題に応じた練習方法を工夫できる。仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を見つけることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることができる。水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができる。</p>	○	○	○	12
<p><b>F 陸上競技・跳躍</b>  <b>【知識及び技能】</b>  走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びではリズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことをといた基本的な動きや効率の良い動きを身につけ、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう事ができるようにする。陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できるようにする。  <b>【思考・判断・表現】</b>  自己の課題に応じた運動の行い方の改善すべきポイントを見つけることができるようにする。自己の課題に応じて、適切な練習方法を選ぶこと。仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択に関して指摘する事ができるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>・指導事項  走り幅跳び  短助走から、助走して測定  走り高跳び  はさみ跳び・ベリールロール  ゴムバーで練習、バーで測定  ・教材  「ステップアップ中学体育」東京都版  ・一人1台端末の活用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>  走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びではリズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことをといた基本的な動きや効率の良い動きを身につけ、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう事ができているか。陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できている。  <b>【思考・判断・表現】</b>  自己の課題に応じた運動の行い方の改善すべきポイントを見つけることができる。自己の課題に応じて、適切な練習方法を選ぶことができる。仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択に関して指摘する事ができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができる。</p>	○	○	○	13
<p><b>G 球技（ネット型）・バレーボール</b>  <b>【知識及び技能】</b>  バレーボールの基本姿勢や基本動作を身につけて、パスやラリーを続けることができるようにする。空いた場所へ攻撃したり、見方が操作しやすい位置にボールをつなぐことや定位置に戻る動きを身につけ、攻防を楽しむことができるようにする。バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解できるようにする。  <b>【思考・判断・表現】</b>  ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を見つけるための運動の行い方のポイントを見つける事ができる。自己やチームの課題を見つけ、それに応じた練習方法を選ぶ事ができる。仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身につける事。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする事などや、健康・安全に気を配ることができるようにする。</p>	<p>・指導事項  アンダーハンドパス  オーバーハンドパス  直上パス  対人パス、円陣パス  サーブ  ミニコートでのゲーム  ・教材  「ステップアップ中学体育」東京都版  ・学習カード  ・一人一台端末の活用  ・一人1台端末の活用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>  バレーボールの基本姿勢や基本動作を身につけて、パスやラリーを続けられる。空いた場所へ攻撃したり、見方が操作しやすい位置にボールをつなぐことや定位置に戻る動きを身につけ、攻防を楽しむことができる。バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解する。  <b>【思考・判断・表現】</b>  ボール操作やボールを持たない時の動きなどの技術を見つけるための運動の行い方のポイントを見つける事ができる。自己やチームの課題を見つけ、それに応じた練習方法を選ぶ事ができる。仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた協力の仕方を身につけられる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする事などや、健康・安全に気を配ることができる。</p>	○	○	○	13
<p><b>H 体育理論・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</b>  <b>【知識及び技能】</b>  運動やスポーツは身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自身の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できること、ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなど社会性を高める効果が期待できること、運動やスポーツを行う際はその特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要がある事などを理解できるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  スポーツが心身に及ぼす効果を理解し、自己の生活に適切に取り入れる方法を考えることができるようにする。運動やスポーツを行う際に求められる社会性を身につける事によって、日常生活でも発揮できるようになるという事を理解できるようにする。健康・安全に配慮して運動やスポーツに取り組むことによって、怪我や事故を減らすことができるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  運動やスポーツの意義や効果について理解し、自己の実践の中に活かすことができるようにする。共に活動する仲間の安全にも配慮することができるようにする。</p>	<p>・指導事項  運動やスポーツが心身や社会性に及ぼす効果  運動やスポーツの学び方や安全な運動やスポーツの行い方  ・教材  「中学校 保健体育」 大日本図書  ・一人一台端末の活用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>  運動やスポーツが、身体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自身の獲得、ストレスの解消などの心理的効果が期待できることを理解する。ルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解する。運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要がある事などを理解する。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  スポーツが心身に及ぼす効果を理解し、自己の生活に適切に取り入れるにはどうすれば良いかを考えられる。運動やスポーツを行う際に求められる社会性を身につける事によって、日常生活でも発揮できるようになるという事を理解する。健康・安全に配慮して運動やスポーツに取り組むことによって、怪我や事故を減らすことができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  運動やスポーツの意義や効果について理解し、自己の実践の中に活かすことができる。共に活動する仲間の安全にも配慮することができる。</p>	○	○	○	4
<p><b>I 保健・傷害の防止</b>  <b>【知識及び技能】</b>  交通事故や自然災害などによる障害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解できるようにする。交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できる事を理解できるようにする。自然災害による障害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じることを理解できるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  知識として理解した事を活かし、身の回りの危険に気づき、日ごろから傷害の防止に努める。また、自然災害などへの備えや安全な避難についての心構えを持つことができるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  傷害の防止について身の回りの生活の危険を理解しようとする。また、自然災害についても当事者意識を持って学習に取り組み、実生活に活かすことができるようにする。</p>	<p>・指導事項  傷害の発生要因と防止  交通事故の要因と傷害の防止  犯罪被害の防止  自然災害による傷害の防止  ・教材  「中学校 保健体育」大日本図書  ・一人一台端末の活用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>  交通事故や自然災害などによる障害は、人的要因や環境要因などが関わって発生することを理解している。交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できる事を理解している。自然災害による障害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じることを理解している。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>  知識として理解した事を活かし、身の回りの危険に気づき、日ごろから傷害の防止に努めている。また、自然災害などへの備えや安全な避難についての心構えを持つことができている。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>  傷害の防止について身の回りの生活の危険を理解しようとしている。また、自然災害についても当事者意識を持って学習に取り組み、実生活に活かすことができる。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1



## 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 技術科 科目： 技術 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： ( 技術・家庭 技術分野 (教育図書) )

教科 技術科 の目標：

【知識及び技能】 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 技術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	情報に関する知識・技能を身につけ、自らで思考・判断・表現し、日常の事象に活用するなどの積極的な態度が身に付けられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークを支える技術</li> <li>・情報のデジタル化</li> <li>・コンピュータの技術</li> <li>・プログラムについて</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータと情報通信ネットワーク</li> <li>・情報モラル</li> <li>・身のまわりの機器は、どのようなエネルギーを利用して動作するのかまとめさせる</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3	
	エネルギーに関する知識・技能を身につけ、自らで思考・判断・表現し、日常の事象に活用するなどの積極的な態度が身に付けられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電の方法には、どのような方法があるか調べさせる</li> <li>・電気エネルギーと別のエネルギーを考える</li> <li>・電気エネルギーについて</li> <li>・歯車の組み合わせ</li> <li>・回転数とトルク</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯車の組み合わせを考え製作する実習を通して既存の知識・理解を日常生活に活用する態度を身に付ける。</li> <li>・リンク機構の組み立てする実習を通して既存の知識・理解を日常生活に活用する態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の安全について</li> <li>・機械の製作実習</li> <li>・リンク機構の組み立て</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3
	期末考査			○	○	○	1	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を通して既存の知識・理解を日常生活に活用する態度を身に付ける。</li> <li>・プログラムの学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策実習で完成した作品をプログラムで制御する</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	8	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換についてのまとめを通して既存の知識・理解を日常生活に活用する態度を身に付ける。</li> <li>・情報の技術についてのまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気エネルギーを運動エネルギーに変換させることについてのまとめ</li> <li>・動く仕組みについて</li> <li>・プログラムについてのまとめ</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	7	
	期末考査			○	○	○	1	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工に関する技術を学ぶことを通して既存の知識・理解を日常生活に活用する態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属材料の性質</li> <li>・金属材料の加工について</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	7	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工に関する実習を通して既存の知識・理解を日常生活に活用する態度を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作のまとめ</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> 単元の知識を活かして活用できるか <b>【思考・判断・表現】</b> 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	3	
	学年末考査			○	○	○	1	
						合計	39	

## 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 家庭科 科目： 家庭 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： ( 技術・家庭 家庭分野 (開隆堂) )

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	消費生活のしくみを理解する	家庭生活と消費	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	2
	食品表示、食品添加物を知る	様々な食品とその選択	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	食品の選択・保存方法を知る	生鮮食品と加工食品	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	食品の安全や情報に関心を持つ	食品の安全	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	期末考査			○	○	○	1
2 学期	洗濯表示を理解する ミシン実習	日常着の手入れと保管 生活を豊かにする物の製作	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	8
	調理の基礎を身につける	日常食の調理(調理実習)	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し実習に生かすなどの態度が高まっているか	○	○	○	7
	期末考査			○	○	○	1
3 学期	住まいの役割を理解する 家庭内事故と原因を知る 売買契約について理解する	住まいのはたらきとこころよさ 安全な住まいで安全なくらし 購入・支払いと生活情報	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	7
	消費者被害の現状を理解する	消費者被害と消費者の自立	【知識・技能】 単元の知識を活かして活用できるか 【思考・判断・表現】 単元の内容の重要性を自らで思考・判断・表現できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 単元の内容を積極的に議論し日常に活かす学習に向かう態度が高まっているか	○	○	○	3
	学年末考査			○	○	○	1
合計							39



<p>Lesson 4</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞節を導く接続詞と第4文型、第5文型について理解し、正しく使う</li> <li>・世界の児童絵本作家について理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ放送の原稿を書き、発表する</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う</p> <p>・教材</p> <p>New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞節を導く接続詞と第4文型、第5文型について理解し、正しく使っている</li> <li>・世界の児童絵本作家について理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ放送の原稿を書き、発表している</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとしている</li> </ul>	○	○	○	11
<p>Lesson 5</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動名詞について理解し、正しく使う</li> <li>・和食と日本文化について理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化に関するプレゼンテーションをする</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う</p> <p>・教材</p> <p>New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 5</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動名詞について理解し、正しく使っている</li> <li>・和食と日本文化について理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本文化に関するプレゼンテーションをしている</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとしている</li> </ul>	○	○	○	11
<p>期末考査</p>		○	○			○		○	○		2
<p>Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了について理解し、正しく使う</li> <li>・北京の観光ツアーのパンフレットを理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の行程表を作り発表する</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う</p> <p>・教材</p> <p>New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 6</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了について理解し、正しく使っている</li> <li>・北京の観光ツアーのパンフレットを理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行の行程表を作り発表している</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとしている</li> </ul>	○	○	○	11
<p>Lesson 7</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態について理解し、正しく使う</li> <li>・スマトラ島の森林減少について理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境破壊に関するスピーチをする</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う</p> <p>・教材</p> <p>New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 7</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態について理解し、正しく使っている</li> <li>・スマトラ島の森林減少について理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境破壊に関するスピーチをしている</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	○	○	○	11
<p>Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞、不定代名詞、再帰代名詞について理解し、正しく使う</li> <li>・平和への思いをのせたダンスについて理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和に貢献した人物について調べ、紹介をする</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>4技能5領域がバランスよく育成される指導を行う</p> <p>・教材</p> <p>New Treasure English Series Stage 2, New Horizon English Course 2</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名詞、不定代名詞、再帰代名詞について理解し、正しく使っている</li> <li>・平和への思いをのせたダンスについて理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和に貢献した人物について調べ、紹介をしている</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のことについて取り組もうとする</li> </ul>	○	○	○	12
<p>中間考査</p>		○	○			○		○	○		2



# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 総合的な学習の時間 科目： 言語文化 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： ( 配布教材 Welcome to Tokyo ( Basic ) )

教科 総合的な学習の時間 の目標：

【知識及び技能】 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 国際的な視点で実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしてまとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に国際社会に参画しようとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協動的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協動的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協動的に取り組む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 数 時
			聞	読	「 」 や	「 」 発	書					
1 学 期	・日本文化や東京の文化について調べ、英語でのプレゼンテーションを行う。	・日本文化について英語でプレゼンテーションをするための表現を学ぶ。 ・日本文化について調べ、1～2分でプレゼンテーションをする。 ・英語でのコミュニケーションを円滑に図る為のコミュニケーション方略として、英語の質問に文章で答える練習、意見に理由をつけて答える練習をする。						【知識及び技能】 ・日本文化や東京の文化について理解している ・プレゼンテーションを行うための表現を正しく使っている 【思考力・判断力・表現力】 ・クラスメイトに日本文化や東京の文化について発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことに取り組もうとしている				6
	・海外語学研修で使用するPhoto Bookを作成する ・作成したPhoto Bookを使ってShow and Tellの活動をする	・英語でのコミュニケーションを円滑に図る為のコミュニケーション方略として、英語の質問に文章で答える練習、意見に理由をつけて答える練習をする。 ・Photo Bookを作成し自己紹介や、日本の文化の紹介をする。						【知識及び技能】 ・Show and Tellに必要な表現を理解し、使っている 【思考力・判断力・表現力】 ・クラスメイトにPhoto Bookを使ってMy FamilyやMy Schoolについて発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことに取り組もうとしている				6
2 学 期	・国内語学研修に向け、Skitを自分たちで考え、発表する	・グループでオリジナルのskitを考え、原稿の形にする ・原稿を見ながら発音、動き、声の強弱やインドネーション等を考え練習をする ・クラスメイトの前でスキットを発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・これまで習った文法事項や語彙を使い、正しい文でスキットの原稿を書いている ・話者の気持ちや立場を考え、それにふさわしい表現をしている 【思考力・判断力・表現力】 ・クラスメイトにオリジナルのスキットを発表している 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことに取り組もうとしている	○	○	○	16
3 学 期	・次年度の海外語学研修にむけ、オーストラリアの文化や習慣について読んだり聞いたりして理解する ・オーストラリアの文化や習慣について調べ、プレゼンテーションを行う	・テキストを読み、理解する ・オーストラリアのビデオを視聴し、理解する ・オーストラリアの文化や習慣について調べる ・クラスメイトの前で発表を行う						【知識及び技能】 ・オーストラリアの文化や習慣について読んだり聞いたりして理解している ・発表のための原稿を正しい英語で書いている 【思考力・判断力・表現力】 ・自ら調べ学習をして書いた原稿をもとに、クラスメイトに発表をしている 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことに取り組もうとしている				11
											合 計 39	

# 東京都立小石川中等教育学校 年間授業計画

教科： 道徳

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 自分を考える・心みつめて ）

教科 道徳 の目標：

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虎</li> <li>・いつでも・どこでも・誰とでも</li> <li>・樹齢七千年の杉</li> <li>・ジョイス</li> <li>・ガストロカメラ</li> <li>・野生の猛禽を守るために</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしさを発揮することのよさに気づき、個性を伸ばして充実した生き方を追求していかうとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・礼儀の根底にある人間尊重の精神の大切さに気づき、時と場に応じた適切な言動で、他者を思いやる心を伝えていかうとする道徳的判断力を高める。</li> <li>・人間の力を超えた自然の雄大さや悠久さに気づき、畏敬の念をもって自然を愛する道徳的心情を育む。</li> <li>・誠実な生き方のよさに気づき、自律的な行為の結果に責任をもち、人間としての誇りを大切に道徳的心情を育む。</li> <li>・真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出していこうとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、他者のものの見方や考え方から学んでいかうとする道徳的態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を振り返りながら、自分らしさを発揮し、個性を伸ばしていくことについて自己とのかかわりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・自分の生活を振り返りながら、礼儀やコミュニケーションの根底にある人間尊重の精神について自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・自分の考えを見直ししながら、畏敬の念をもって自然を愛することについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・過ちを認めることの難しさも理解しながら、誠実な生き方のよさについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・自分の考えを見直ししながら、真理を探究していくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> </ul>				6
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは駄目？ これも駄目？</li> <li>・燃え盛る炎</li> <li>・君、想像したことある？</li> <li>・「キング」と呼ばれる理由 — 三浦知良 —</li> <li>・ありガトオヨ</li> <li>・相馬野馬追の季節</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の判断の基準を見つめ、話し合うことを通して、節度を守り、節制に心がけて、心身ともに健康で安全な生活を送ろうとする道徳的判断力を高める。</li> <li>・かけがえのない生命を尊び、限りある人生を懸命に生きていかうとする道徳的態度を養う。</li> <li>・いじめをする人間の醜さに気づき、自分の弱さに打ち勝って、差別や偏見、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う。</li> <li>・高い目標に挑戦していくことの素晴らしさに気づき、困難や失敗に直面しても、希望や勇気を失わずに努力を続けていかうとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・人間愛の精神を深め、人と人との支え合いを可能にする思いやりや感謝の心を大切に道徳的心情を育む。</li> <li>・郷土に受け継がれた伝統文化のよさや大切さに気づき、地域社会の一員として郷土の伝統と文化を大切にしていこうとする道徳的実践意欲を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の判断の基準について友達と話し合いながら考えることを通じて、節度を守り、節制に心がけることについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・自分の考えを振り返って、いじめのない社会の実現について自己との関わりで考えを深めている記述がみられる。</li> <li>・自分の考えを振り返りながら、感謝の心のよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・郷土の伝統文化のよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> </ul>				9
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明かりの下の燭台</li> <li>・仏の銀蔵</li> <li>・嵐のあとに</li> <li>・小さなこと</li> <li>・傘の下</li> <li>・お前のカワウソがさびしがっているぞ</li> <li>・路上に散った正義感</li> <li>・天使の舞い降りた朝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実を求めていかうとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・社会の規律を守ろうとする規範意識の大切さに気づき、自他の権利を大切にし、義務を果たしていこうとする道徳的判断力を高める。</li> <li>・心から信頼し合うことの大切さに気づき、相互に変わらない信頼と相手に対する敬愛の念に基づく真の友情を育んでいかうとする道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・自らを律して誠実に実行していくことのよさや大切さに気づき、自らの規範意識を高め、自律的に生きていかうとする道徳的態度を養う。</li> <li>・社会の規範を守ることの大切さに気づき、自他の権利を大切にし、義務を果たして規律ある社会の実現に努める道徳的態度を養う。</li> <li>・責任ある行動の大切さに気づき、自主的によく考えて判断し、誠実に実行して、結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。</li> <li>・正義と公正さを重んじ、不正を憎み、不正な言動を断固として許さない社会の実現に努める道徳的態度を養う。</li> <li>・「生きる」ということの多面性に気づき、限りある自分の人生を懸命に生きていかうとする道徳的実践意欲を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団における自分の役割と責任を果たしていくことについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・社会の規律を守ろうとする規範意識の大切さについて自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・自分の考えを見直ししながら、信頼に基づく友情について自己との関わりで考えを深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・自分の生活を振り返りながら、自らを律して誠実に実行していくことのよさや大切さについて自己との関わりで考えを深めている記述がみられる。</li> </ul>				9

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネパールのビール</li> <li>・加奈子の職場体験</li> <li>・尊い王子</li> <li>・人間であることの美しさ</li> <li>・タッチアウト</li> <li>・最後の年越しそば</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間としての誇りや深い人間愛を大切に して、生きる喜びを見出していこうとする 道徳的心情を育む。</li> <li>・ 勤労の尊さや意義を理解して、自分の 将来の生き方を考えていこうとする道徳的 実践意欲を培う。</li> <li>・ 自らの健やかな成長と幸福を願う家族 への感謝と敬愛の念を深める道徳的 心情を育む。</li> <li>・ 人間の強さや気高さに感動する心 に気づき、自らの感動を大切に する道徳的心情を育む。</li> <li>・ 人間のもつ気高く生きようとする 心に気づき、自らの弱さや醜さを 克服して、よりよく生きようとする 道徳的心情を育む。</li> <li>・ 思いやりの心の大切さに 気づき、温かい人間愛の精神を もって、人と人との支え合いを 大切に する道徳的心情を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人を信じ切ることのできない弱さと それを乗り越えたいと願う気高さ について自己との関わりで考えを 深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・ 働くことの厳しさや仕事への 誇りに ついて自己との関わりで考えを 深めている発言や記述がみられる。</li> <li>・ 自分の生活を振り返りながら、 家族の深い愛情について自己との 関わりで考えを深めている 発言や記述がみられる。</li> <li>・ 自身の体験を振り返りながら、 人間の強さや気高さへの感動 について自己との関わりで 考えを 深めている記述がみられる。</li> </ul>				7
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一冊のノート</li> <li>・国</li> <li>・本物の将棋指し — 村山 聖 —</li> <li>・迷惑とは何ぞ</li> <li>・アイツとセントバレンタインデー</li> <li>・足袋の季節</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族を敬愛し、家庭の一員としての 自覚をもって充実した家庭生活を 築こうとする道徳的態度を養う。</li> <li>・ 日本に生きる者としての自覚を もって、国家及び社会の形成者 としてその発展を願う道徳的 心情を育む。</li> <li>・ 夢や目標に向かって生きる ことの大切さに気づき、困難や 失敗を恐れず、自らの夢や 目標に向かって努力して いこうとする道徳的実践意欲を 培う。</li> <li>・ 社会連帯の大切さに 気づき、社会に暮らす人々と互 いに支え合い、ともに よりよく生きていこうとする 道徳的態度を養う。</li> <li>・ 異性間においても相手と 理解し合うことの大切さに 気づき、信頼と敬愛の念を もってよりよい人間関係を 築いていこうとする道徳的 実践意欲を培う。</li> <li>・ 人間の弱さや醜さとそれを 克服したいと願う心に 気づき、自分に恥じない、 人間として誇りある 生き方を追求する道徳的 態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族への敬愛の念や家族の一員 としての自覚について自己との 関わりで考えを深めている 発言や記述がみられる。</li> <li>・ 友達と意見交換しながら、 自分の考えを見直し、人と 国とのかかわりについて 自己との関わりで考えを 深めている発言や記述が みられる。</li> <li>・ 夢や目標に向かって努力 していくことについて自己 との関わりで考えを 深めている発言や記述が みられる。</li> <li>・ 社会連帯の大切さについて 自己との関わりで考えを 深めている発言や記述が みられる。</li> </ul>				11
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最も悲しむべきことは、病めること でも貧しいことでもなく</li> <li>・地図のある手紙</li> <li>・看取りの医者</li> <li>・一年間の学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界中の人々と協働し、互いに 尊重し合いながら、国際平和と 人類の幸福に寄与する道徳的 実践意欲を培う。</li> <li>・ 思いやりの心の温かさに 気づき、人と人をつなぐ 思いやりの心を大切に しようとする道徳的 心情を育む。</li> <li>・ 生命の尊さについての理解を 基に、自己の生き方を 考え続けていこうとする 道徳的実践意欲を培う。</li> <li>・ 1年間の学習を振り返り、 自身の考えが深まった 点について確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを振り返りながら、 深い人類愛について自己 との関わりで考えを 深めている発言や記述が みられる。</li> <li>・ 人間としての尊厳を もって生きることの 大切さについて自己との 関わりで考えを 深めている発言や記述が みられる。</li> </ul>				合計
							42



